

J R 西日本への確認事項と回答

1. 自治体が譲渡を受けない場合の資産の維持管理について

	確認事項	回 答
1	国土交通省管理河川区域の鉄道橋梁の維持管理は、どのように計画されていますか。	占有許可を得ていた橋梁については、撤去計画に基づき、順次、撤去します。
2	県道、市道、小河川など公有地設置の跨道橋等の構造物の維持管理は、どのように計画されていますか。 ① 占有許可を得ていた橋梁の名称及び位置について、具体的にお示しください。 ② 仮に、国有地、県有地、市有地上の占有許可手続きが行われていない構造物であっても、撤去しないという方針でしょうか。	占有許可を得ていた橋梁については、撤去計画に基づき、順次、撤去します。 ① 撤去計画は、別紙のとおりです(国・県管理地分)。 ② 許可の有無に関わらず、原則、撤去を行います。
3	JR所有地で里道等と交差する箇所の構造物(例: 鉄路、警報機、遮断機)の維持管理は、どのような計画ですか。 ① 橋梁等の撤去完了した後は、撤去されると解してよろしいでしょうか。 ② 仮に、市等が財産の譲渡を受けないと決定した場合には、決定後、撤去完了まで何年くらいを要する予定ですか。	橋梁等撤去工事で使用計画があるため、当面は現状のまま維持管理します。 ① 里道部分のレール・枕木等は、原則そのままの状態を維持します。 (警報機、遮断機、建物及び電気設備については、順次撤去工事を行いますが、その他の施設・設備については、当面撤去計画は有りません。) ② 橋梁撤去計画によると、全体工程で14年程度要する予定です。
4	JR所有地の高架等の構造物の維持管理は、どのような計画ですか。 ① JR所有地の高架等の構造物に該当する具体的な施設の名称及び位置についておしえてください。	占有許可を得ていた橋梁については、撤去計画に基づき、順次、撤去します。 ① 別紙のとおりです。 (市町管理の橋梁は多数ありますが、国・県橋梁の計画に合わせて撤去を行います。)
5	JR所有地の除草頻度についておしえてください。 ① 除草頻度の考え方(今までどのようであったのか)について、具体的におしえてください。	民地等と境界を接する箇所については、今までどおりの対処を行います。 ① 苦情等発生の都度、対応します。
6	トンネル(公用地、私有地)の維持管理について、どのように計画されていますか。 ① 「封鎖」とは、トンネル開口部のみに内部への進入を防ぐ構造物(例えば、一定の厚さのコンクリート壁)を設置する工事を行うものと解してよろしいでしょうか。	橋梁等の撤去工事が終了し次第、順次封鎖します。 ① 具体的な工法については検討中ですが、将来的にトンネルの開口部は全体をふさぐ予定です。
7	建物(待合所、トイレ等)の維持管理は、どのような計画ですか。	2019年度(H31年度)末までに、順次、撤去します。

J R 西日本への確認事項及び回答

2. JR西日本保有資産の健全度等について

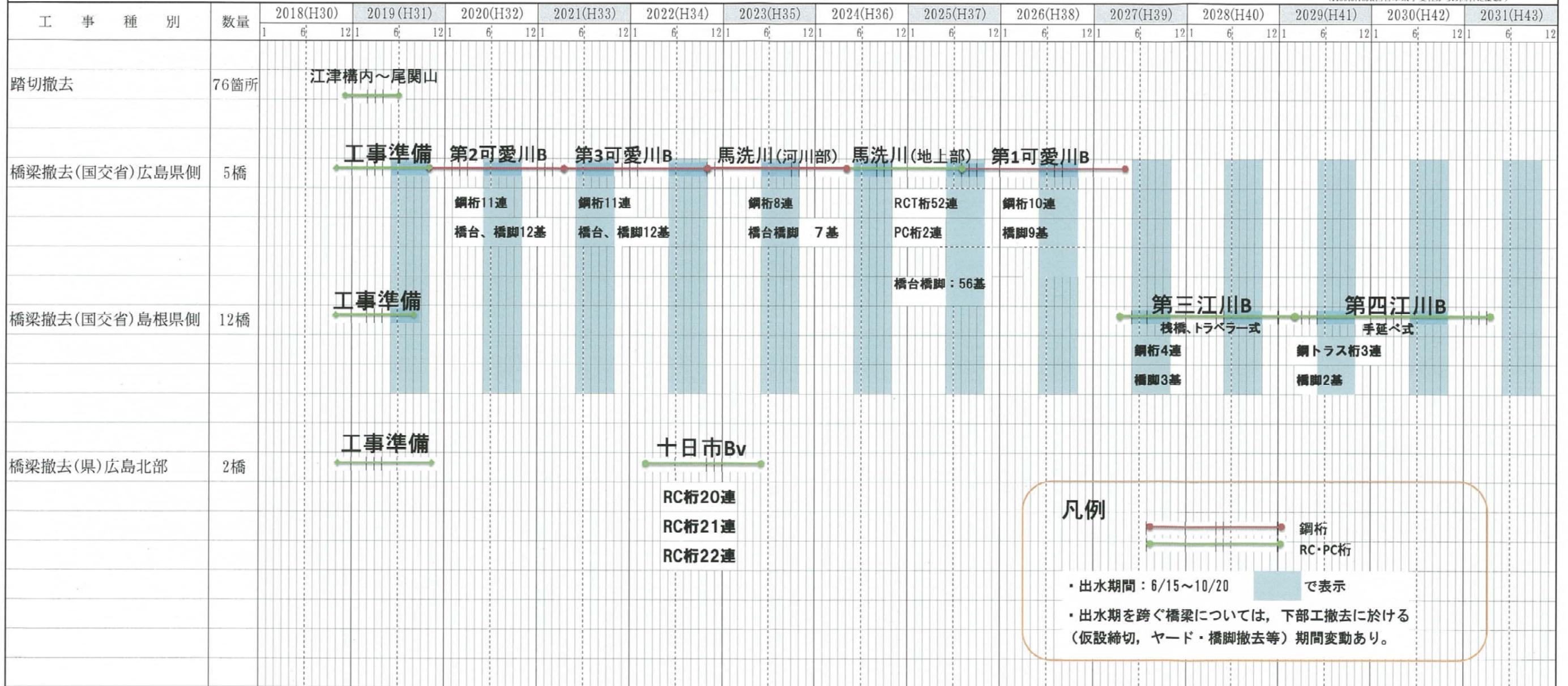
	確認事項	回 答
1	<p>河川管理施設等構造令の適用可否について、おしえてください。</p> <p>① 河川占用許可を受けておられない橋梁等の構造物で、河川管理施設等構造令に適合していない構造物はありますか。</p> <p>② 仮に、①について、貴社として見解を示すことが困難であるとした場合、河川管理者に貴社が提出されている占用許可関係資料に基づいて、判断の上、結果を公表してもらうよう依頼しても良いですか。</p>	<p>廃止前までは、鉄道事業法に基づく検査により安全に運行してきました。廃止後の基準は特にありませんが、撤去するまでの間は適切に維持管理していきます。</p> <p>① JRでは判断できません。</p> <p>② 河川構造令適合の可否に関わらず、原則、撤去する計画です。</p>
2	<p>跨道橋、高架、トンネル等の構造物の老朽状況をおしえてください。</p>	<p>3月末までは鉄道事業に供していたものであり、健全です。なお、橋梁・建物等は順次撤去していきます。</p>
3	<p>橋梁、駅舎等の耐震状況をおしえてください。</p>	

3. その他

	質 問	回 答
1	<p>自治体以外の住民団体等へ譲渡することが可能ですか。その場合、有償/無償のいずれですか。</p>	<p>一般の方への譲渡は当面考えていません。</p>
2	<p>JR所有のまま、市が借上使用の可能性はありますか？</p> <p>① 「一時的」とは、どの程度なのか、期限の目安はありますか。</p> <p>② 例えば、5年以上の期間にわたる借上使用の可能性はあるのでしょうか。</p>	<p>使用目的等により一時的な使用は可能ですが、内容により検討していきます。</p> <p>① 期限は1年未満としますが、具体的な要望内容により検討します。</p> <p>② 1年を越える期間の貸借には対応できません。その場合は、行政側に引き取っていただきたいと考えています。</p>
3	<p>撤去計画の策定、公表時期はいつ頃となりますか。</p>	<p>橋梁、踏切、建物及び電気設備は順次撤去工事を行います。その他の施設・設備(例:レール・枕木等)については、当面撤去計画はありません。</p>

JR西日本の旧三江線撤去工事計画

三次市政策部特命担当作成
(H30.6.13JR西日本米子支社からの回答による。)



凡例

鋼桁

RC・PC桁

- ・ 出水期間：6/15～10/20 で表示
- ・ 出水期を跨ぐ橋梁については、下部工撤去に於ける（仮設締切、ヤード・橋脚撤去等）期間変動あり。

備考
・レール・枕木については、原則、全域にわたり現状のままの維持とする。撤去は考えていない。
・市町管理分の河川橋梁、高架橋ともに、2031年(H43年)までには全て撤去の予定。(※本表は国・県管理分のみ。)

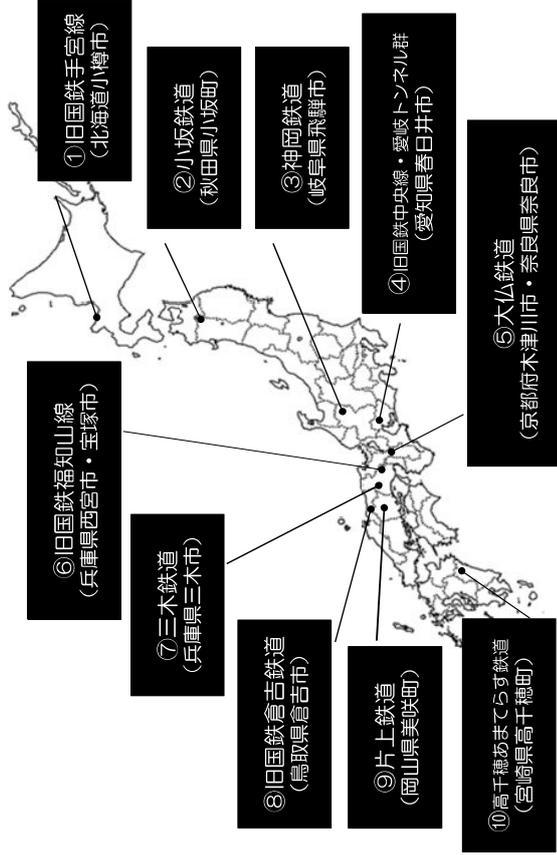
旧三江線沿線市町鉄道資産活用（譲渡）状況

 : 譲渡済み
 : 協議中

	施設名等			
江津市	川戸駅周辺	川平駅		
	バス停, 待合, 道路用地(線路敷き)	バス停, 待合, バス巡回場		
川本町	石見川本駅周辺	因原駅周辺		
	道路用地 (ロータリー構想)	道の駅改修用地 (駐車場等利用)		
美郷町	築瀬駅	浜原駅周辺	石見都賀駅の近辺	
	バス停	交通乗換拠点	元官舎⇒バス車庫 (将来: 民間譲渡予定)	
邑南町	江平駅周辺	作木口駅周辺	宇都井駅	口羽駅
	道路用地(予定)	道路用地(予定)	(協議中)	(協議中)
安芸高田市	式敷駅	船佐駅		
	バス巡回場等	バス待合		
三次市	香淀駅周辺			
	バス停, バス巡回場			

(平成30年5月末現在調べ)

廃線後の主な活用事例



①旧国鉄手宮線 (北海道小樽市)



②小坂鉄道 (秋田県小坂町)



③神岡鉄道 (岐阜県飛騨市)



④旧国鉄中央線・愛岐トンネル群
(愛知県春日井市)



散策



策



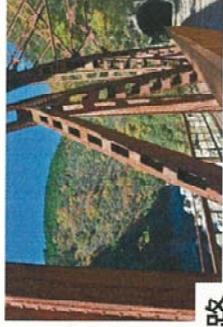
コンサート



⑥旧国鉄福知山線
(兵庫県西宮市・宝塚市)



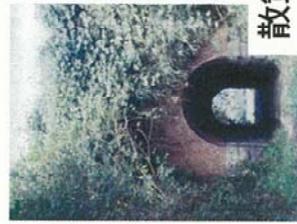
散策路



⑤大仏鉄道
(奈良県奈良市・京都府木津川町)



鉄道公園



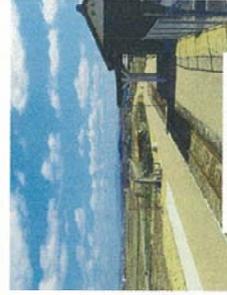
散策・生活道路



展示



⑦三木鉄道(兵庫県三木市)



多目的施設



遊歩道



三木鉄道ふれあい館



⑧旧国鉄倉吉鉄道
(鳥取県倉吉市)



鉄道記念館



トレッキングコース



⑩高千穂あまてらす鉄道
(宮崎県高千穂町)



スーパークラート



運転体験



⑨片上鉄道(岡山県美咲町)



展示運転



展示車両内



駅舎



サイクリング・撮影会等のイベント

全国の廃線活用事例

廃線鉄道名	現在の名称(略称あり)	・所有 ・運営 ・維持管理 など	所在地 (人口※H30年5月末)	施設概要	経緯など	ホームページ
①旧国鉄手宮線	オープンスペース	小樽市 小樽まちづくり協議会	北海道小樽市 (117,589人)	【活用距離】約1.6km ・散策路、市民参加の花壇や休憩所、ベンチ ・夏期に行われる祭りに合わせて開かれる市場や、小樽雪あかり路の会場に使用される。	手宮線は1985(昭和60)年に廃止。市民が中心となり「旧国鉄手宮線打合せ会議」が発足し、跡地利用について検討が行われた。1998(平成10)年に周辺住民対象の調査結果を踏まえ、小樽市では事業の採算性を勘案し、オープンスペースとして活用を図ることに決定。2001(平成13)年、市は延長約510メートルの区間をJR北海道から購入し整備を行った。2007(平成19)年には中央通り～小樽市総合博物館までの1,160メートルを新たに取得。総事業費約5億7000万円(うち用地取得費3億2000万円)かけ2016(平成28)年に全区間の整備を完了した。	https://www.city.otaru.lg.jp/simin/sumai/machidukuri/temiyasen/
②小坂鉄道	小坂レールパーク	所有:小坂町 管理運営:小坂まちづくり株式会社 協力機関:小坂鉄道保存会(ボランティア団体)	秋田県小坂町 (5,190人)	・レール遊びの複合施設。乗車体験(レールバイク、観光トロッコ、ディーゼル車運転体験)車両展示、設備見学、車両宿泊(動くホテル)がある。	2011(平成23)年5月、小坂町が、小坂製錬から旧小坂駅機関車庫を借り受け、旧小坂駅のレールパーク化を目標とした「小坂鉄道観光活用事業」を開始。2013年10月、「小坂レールパーク」プレオープン。秋田県は2013(平成25)年11月に「旧小坂鉄道」を「地域資源」に認定したほか、2014(平成26)年には、小坂鉄道の線路、敷地、車両、設備などの一部が沿線の大館市と小坂町に無償譲渡された。その後、入園者数は減少を続け、赤字経営となったため、2017(平成29)年には民間の会社へ経営を委託するが、集客困難のため冬期の閉園が決定した。今後は集客状況を勘案し、事業の取りやめも検討されている。	http://kosaka-rp.com/
	大館・小坂鉄道レールバイク	所有:大館市・小坂町 運営:NPO法人大館・小坂レールバイク	秋田県大館市 (73,008人)	【活用距離】特設コース:2km、常設コース:1.8km ・林間を走り、橋梁を渡る本格的なレールバイク ・電動車で牽引するトロッコ客車		http://railbike.jp/
③神岡鉄道	レールマウンテンバイク Gattan Go!!	所有:飛騨市 維持管理:NPO法人神岡・町づくりネットワーク	岐阜県飛騨市 (24,453人)	【活用距離】まちなかコース:2.9km、渓谷コース:3.3km ・レールマウンテンバイク ・電車運転体験(おくひだ号を750m運転できる)	2006(平成18)年に廃線。地元の有志(当時の神岡鉄道協会)がアイデアを集結し、翌年、レールマウンテンバイクの運行を開始。利用者は年間4万人を超える。現在、飛騨市が鉄道資産を保有、維持管理業務をNPO法人神岡・町づくりネットワークに委託している。	https://rail-mtb.com/
④旧国鉄中央線・愛岐トンネル群	愛岐トンネル群	愛岐トンネル群保存再生委員会	愛知県春日井市 (311,608人)	【活用距離】1.7km ・散策路(竹林、モミジ、水車、鐘、マルシェ(売店)、トンネル、SL動輪、広場がある) ・毎年、春秋の恒例行事で4基のトンネルを公開 ・広場では、トンネルコンサートなどイベントを開催	1966(昭和41)年に廃線。2007(平成19)年、市民有志による調査が開始。2009(平成21)年に委員会を設立し、保存再生活動を行う。2014年、ナショナルトラストにより保存再生委員会が敷地の一部を取得。2016(平成28)年に3施設が登録有形文化財に認定される。	http://aigi-tunnel.org/
⑤大仏鉄道	大仏鉄道	所有、維持管理:木津川市、奈良市	京都府木津川市 (76,564人) 奈良県奈良市 (358,330人)	【活用距離】9.9km ・生活道路(市道) ・散策路(動輪モニュメント、ランプ小屋、機関車の展示、橋台、トンネル跡、大仏鉄道記念公園がある)	1907(明治40)年、鉄道の国有化により廃止となる。現在、線路跡は残っていないが、橋脚やトンネルなどが元路線沿いにそのままの姿で残っており、生活道路やハイキングコースとして使用されている。	http://www.0774.or.jp/spot/daibutu/
⑥旧国鉄福知山線	福知山線廃線敷	所有:JR西日本 維持管理:西宮市	兵庫県西宮市 (488,265人) 兵庫県宝塚市 (225,242人)	【活用距離】4.7km ・ハイキングコース	1986(昭和61)年、生瀬-武田尾間(約6.5キロ)の複線電化に伴い廃線になる。JR西日本の私有地であるが、紅葉や桜を楽しむハイキングコースとなり、JR西日本が安全対策を施し、2016(平成28)年から一般開放された。市は清掃、除草、巡回パトロールなどの管理を行っている。	http://nishinomiyakankou.jp/info20161109/
⑦三木鉄道	別所ゆめ街道	所有・維持管理:三木市	兵庫県三木市 (78,084人)	【活用距離】4.8km ・遊歩道(鉄道公園、旧三木鉄道の駅舎、標識、線路が残っている休憩所、多目的施設、市立農作物工房、地域の歴史を知る貴重な資料展示、飲食物の販売) ・ふれあい会館(三木鉄道の歴史に関する展示や当時の看板、写真の展示、ミニトロッコの運行、ゲートボール・グランドゴルフなどの実施)	第3セクター三木線は2008(平成20)年に廃止。その後、三木市の諮問機関として「三木鉄道跡地等利用検討委員会」が設立され、廃線跡の活用を検討した結果、まちづくりに必要であると活用を決定。2018(平成30)年4月に別所ゆめ街道が完成した。総事業費は約11億5千万円。その後公園内にカフェテラスを建設する計画があったが、採算を見込めないため中止となった。	https://bessho-yumekaido.com/
⑧旧国鉄倉吉鉄道	・旧国鉄倉吉線廃線跡トレッキング ・市道うわなだ散歩道 ・市道うつぶき散歩道	所有:倉吉市・鳥取県(2001年時点) 運営:倉吉観光マイス協会	鳥取県倉吉市 (47,399人)	【活用距離】トレッキングコース1:約2.9km、コース2:約4.6km、コース3:約3.9km ・トレッキングコース。4～6月と9～11月の間は、ガイド同行のトレッキングツアーを開催。 ・サイクリングロード	1985(昭和60)年、鉄道廃止され、1991(平成3)年には、倉吉線鉄道記念館をオープン。現在、廃線後30年以上を経るが、今でも一部区間でレールやホームが当時のまま残されており、レールの上を歩くトレッキングコースとして活用される。2018(平成30)年からはツアーに加え、個人でも参加できるオープンデーが月一回定期的に開催される。	https://www.kurayoshikankou.jp/tourplan/1/
	倉吉線鉄道記念館	所有・維持管理:倉吉市		・倉吉線に関する資料展示 ・SLの静態保存 ・彫刻家の作品展示		https://www.kurayoshikankou.jp/
⑨片上鉄道	片鉄ロマン街道	所有:美咲町 維持管理:片上鉄道保存会	岡山県美咲町 (14,395人)	【活用距離】サイクリングロード:約34km ・サイクリングロード(沿線に当時の面影が残る) ・柵原ふれあい鉱山公園(鉱山に関する資料館、吉ヶ原駅の施設見学、電車の展示運転、乗車体験、季節イベントの開催)	1991(平成3)年に鉄道廃止され、翌年に、片上鉄道保存会が発足した。1998(平成10)年、柵原ふれあい鉱山公園が開園。片上鉄道吉ヶ原駅が当時のまま公園内に残る。2006(平成18)年、吉ヶ原駅の駅舎が登録有形文化財に指定される。現在、美咲町から委託を受け、管理、運営を片上鉄道保存会が担う。	http://katatetsu.travel.coocan.jp/
⑩高千穂あまてらす鉄道	高千穂あまてらす鉄道	高千穂あまてらす鉄道株式会社	宮崎県高千穂町 (12,432人)	【活用距離】スーパーカート:約2.5km ・グランド・スーパーカート(2500ccのディーゼルエンジンを搭載し、客車の床の中心部には強化ガラスを敷設して、線路や高千穂鉄橋最高地点(105m)での直下の眺めを楽しめる。30人乗り) ・ディーゼル車運転体験(旧高千穂鉄道時代に使用していたディーゼル車を、元高千穂鉄道運転士の指導で運転することができる) ・スーパーカート(軽トラックを改造した小型車両で、定員18名。) ・遊具(ブランコ、ジャングルジムなど)、展示室(高千穂鉄道時代に使用していた機器や資料を展示)、鉄道公園、カフェ	高千穂あまてらす鉄道株式会社が、2008(平成20)年に、高千穂鉄道の廃線を受けて、2008(平成19)年3月に創立。2013(平成24)年、鉄道橋としては日本一の高さ(105メートル)に架かる高千穂鉄橋を渡るスーパーカートの走行開始。	https://amaterasurailway.jp/

第3回 三次市旧三江線鉄道資産検討委員会【現地視察】

日 時：平成30年8月7日（火）13時00分～

場 所：集合 みよしまちづくりセンター駐車場

○ 行 程

※別紙「第3回三次市旧三江線鉄道資産検討委員会 現地視察行程図」のとおり。

【十日市エリア】

① 馬洗川橋梁（説明：国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所）



【三次町エリア】

② 旧尾関山駅周辺



【粟屋町エリア】

③ 旧上荒瀬踏切付近



④ 旧粟屋駅付近



【作木町・邑南町エリア】

⑤ 旧香淀駅周辺



⑥ 旧伊賀和志駅周辺



⑦ 旧宇都井駅周辺

第3回 三次市旧三江線鉄道資産検討委員会 現地視察行程図

- ① 馬洗川橋梁 → ② 旧尾関山駅周辺 → ③ 旧上荒瀬踏切付近 → ④ 旧栗屋駅付近
→ ⑤ 旧香淀駅周辺 → ⑥ 旧伊賀和志駅周辺 → ⑦ 旧宇都井駅周辺

